



©2005 石塚真一/小学館

第 198 号(令和2年8月 28 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

長野県では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「入山注意報」を発表しています。

長野県 山岳情報サイト <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangaku/index.html>

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

8 月 4 週は、6 件の山岳遭難の発生がありました。

21 日に発生した槍ヶ岳北鎌尾根における単独遭難は、初めてのルートであったことから、行動に時間がかかって日没になり、更に天候の悪化によって、足を滑らせて滑落してしまったものです。北鎌尾根は、バリエーションコースとして人気がありますが、近年は技術・体力不足の登山者による遭難が後を絶ちません。

北鎌尾根は、アプローチを含め標高差も大きい長大なルートです。また、複雑な岩稜帯を進むため、一旦、尾根を登り始めたら途中で引き返したり、脱出することは非常に困難です。技術、体力、経験が揃っていることはもちろん、それに加えて、気象条件が揃っていなければ大変危険です。

高みや困難を目指すことは登山の醍醐味の一つですが、着実なステップアップを心がけて下さい。

長野県では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「長野県内入山注意報」と、「登山者への 5 つのお願い」を発表しています。登山者の皆さんは、十分にレベルを落とした山域を選び、感染防止対策にご協力をお願いします。

発生状況

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
8 月 17 日	小県郡長和町殿城山	70	男	道迷い	無事救出	家族と 2 人で殿城山を下山中、道に迷い、行動不能
		67	女	道迷い	無事救出	
17 日、小県郡長和町の殿城山において、男性 70 歳と女性 67 歳が道に迷う山岳遭難が発生し、上田警察署員が救助しました。						
8 月 18 日	大棚入山	35	男	発病	無事救出	単独で大棚入山から野上川を下山中、発病により、行動不能
18 日、木曽郡木曽町の野上川付近において、男性 35 歳が体調不良により行動ができなくなる山岳遭難が発生し、19 日、木曽警察署員及び機動隊員が発見し、岐阜県警ヘリで救助しました。						

8月19日	八ヶ岳連峰 三ツ岳	73	女	転倒	負傷	仲間と2人で三ツ岳から雨池山へ縦走中、転倒、負傷
19日、八ヶ岳連峰雨池山付近において、女性73歳が下山中に転倒し負傷する山岳遭難が発生し、静岡県防災ヘリで救助しました。						
8月20日	浅間連峰 車坂山	67	男	疲労	無事救出	単独で車坂峠から黒斑山へ向けて登山中、疲労により、行動不能
20日、浅間連峰車坂山において、男性67歳が体調不良により行動ができなくなる山岳遭難が発生し、小諸警察署山岳高原パトロール隊員、佐久広域消防本部員及び浅間連峰地区山岳遭難防止対策救助隊員が連携して救助しました。						
8月21日	北アルプス 槍ヶ岳	72	男	滑落	負傷	単独で槍ヶ岳山頂付近(北鎌尾根)を登山中、滑落、負傷
20日、北アルプス槍ヶ岳において、男性72歳が岩場から滑落して負傷する山岳遭難が発生し、21日、県警ヘリが男性を救助しました。						
8月21日	北アルプス 常念岳	56	男	転倒	負傷	
21日、北アルプス常念岳において、男性56歳が下山中に転倒して負傷する山岳遭難が発生し、21日、県警ヘリが男性を救助しました。						

令和2年中の山岳遭難発生状況(令和2年1月1日～8月23日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和2年	105	15		49	51	115	64
平成31(令和元)年	198	15	5	115	83	218	135
前年同期比	-93	±0	-5	-66	-32	-103	-71
内)BC	-1	±0	±0	-1	-3	-4	-1
内)山菜キノコ採り	-5	±0	-1	+1	-8	-8	±0

山域別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	7	6.7%	1		5	2	8
	後立山	30	28.6%	4		16	13	33
	その他	14	13.3%	3		6	5	14
	計	51	48.6%	8	0	27	20	55
中央アルプス	5	4.8%	1		1	3	5	
南アルプス	4	3.8%			1	6	7	
八ヶ岳連峰	18	17.1%	3		11	4	18	
その他の山岳	27	25.7%	3		9	18	30	
計	105		15	0	49	51	115	

態様別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	27	25.7%	4		24		28
転倒	18	17.1%			18		18
病気	6	5.7%	2			4	6
道迷い	21	20.0%				24	24
落石	2	1.9%			2		2
雪崩	4	3.8%	1		3		4
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	12	11.4%	1			13	14
不明・他	15	14.3%	7		2	10	19
計	105		15	0	49	51	115

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計		
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率	
19歳以下					0	18 20.0%					0	7 28.0%	0	25人 21.7%	
20代			1	6	7					2	2				9
30代	1		6	4	11				2	3	5				16
40代	3		8	8	19	43			4		4	11	23	54人	
50代	1		11	12	24	47.8%	2		4	1	7	44.0%	31	47.0%	
60代	5		3	5	13	29			3	1	4	7	17	36人	
70以上	3		5	8	16	32.2%			2	1	3	28.0%	19	31.3%	
計	13	0	34	43	90		2	0	15	8	25		115		
比率	78.3%						21.7%								

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝